

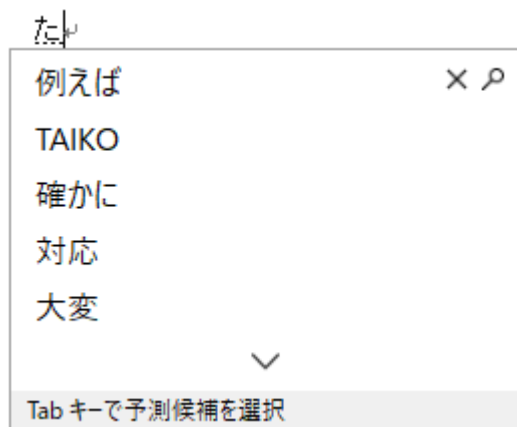
便利だけど面倒くさい？”予測入力“

2019 年 4 月 13 日

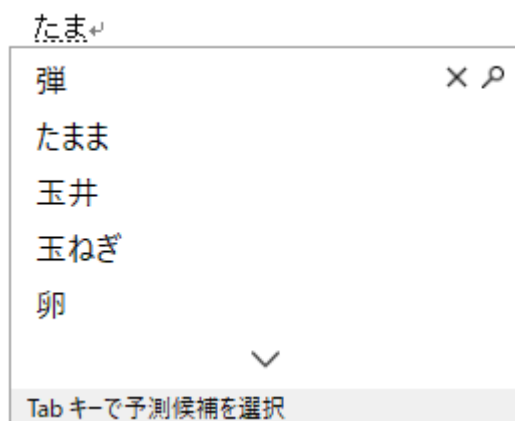
By ミケパパ

ワードやエクセルなど、マイクロソフトオフィスのソフトを利用していると、最初の一字を入力ただけで候補の文字が出てきます。

例えば「た」と入力しますと、いくつもの変換候補が出てきます。入力文字数に応じて、候補は変わります。



続いて「たま」と入れますと



もし、入力したい単語が「玉ねぎ」であったなら、この変換候補リストの「玉ねぎ」を選択すれば変換が完了しますので、入力にかかる時間が省略できます。この「変換候補」としては、今まであなたが文字として入力した履歴や、ソフト(オフィス)が持っている辞書の中からパソコンが自動的に選んで

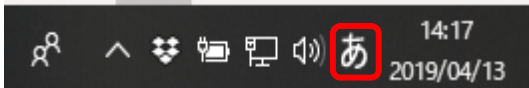
便利な機能なのですが、手元が怪しくなっている我々シニアには、時として面倒くさい現象を起こします。と申しますのは、「選択したつもりがないのに、間違った候補を選択してしまう」ことがままあることです。特に、数字が入った場合によく起こるようです。

例えば、「45」と入れたいと思っておりますのに、「4」と入れただけで「4 丁目」などという間違った文字に変換されたりします。「4 丁目 5」などとなり、修正が必要になります。気づいていないのですが、手元が(マウスが)動いて、候補を選んでいるのです。

ある会員から、「しょっちゅう誤変換する。何とかならないか？」という相談を受けました。確かに、候補の羅列で終わればいいが、勝手に変換されるのは面倒くさいですね。

それでは以下に、この設定の変更方法を述べてみます。

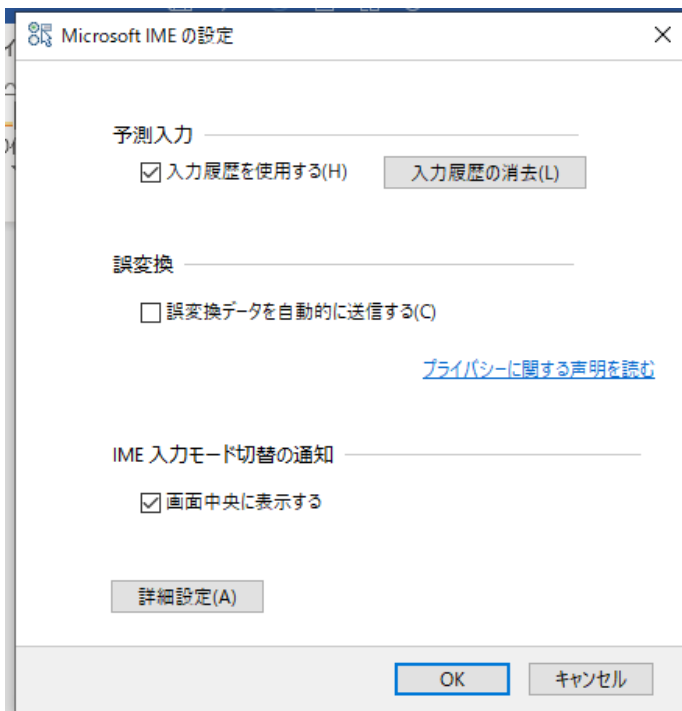
1. パソコン画面右下、タスクバー上の「あ」を右クリックする



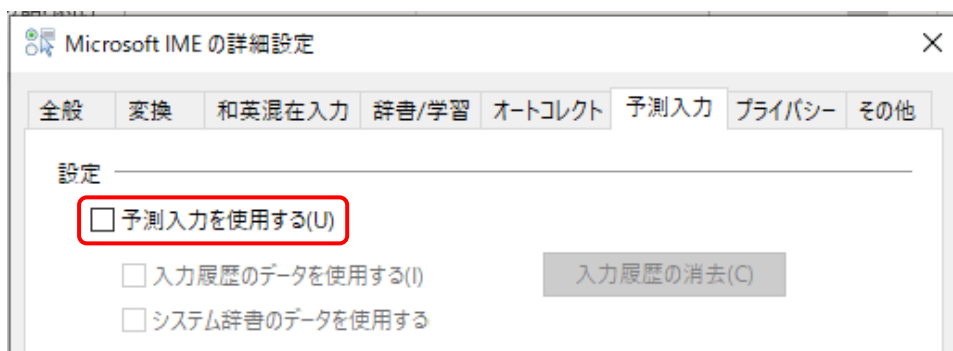
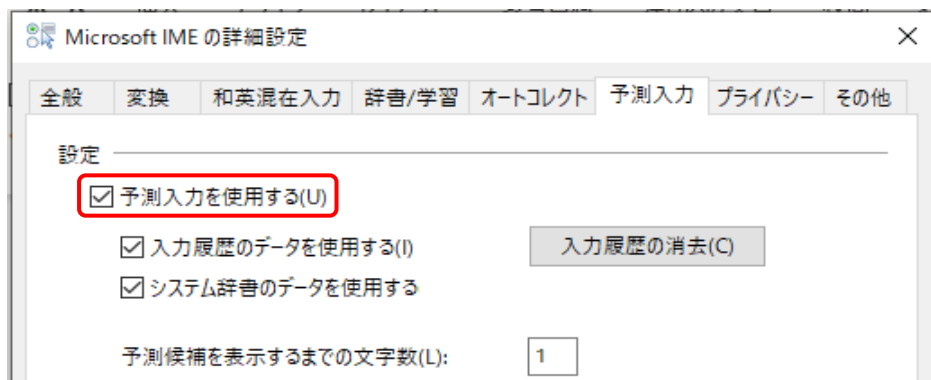
2. 出てきた「IME オプション」の表から「プロパティ」をクリック



3. 「Microsoft IME の設定」の「詳細設定」をクリック



4. 「Microsoft IME の詳細設定」の「予測入力」タブにある「予測入力を使用する」から☑を外す



5. 一番下にある「OK」をクリック

これ以降、予測入力は生じなくなります。「たま」と入れても、何も候補は出てきません。ただやはり便利な機能なので、ある程度「手元に自信のある方」には、慣れることをお勧めします。なお、この機能は、文字変換を伴うオフィスのソフト（ワード、エクセル、パワーポイント、Outlook）のすべてに適用されます。ですので、一旦解除しますと全てのソフトで変換候補は出なくなります。

以上